

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

心身共に健康で、自ら学び考える、たくましい富士っ子を育成する。

めざす富士っ子



なかよく (徳)	かしこく (知)	たくましく (体)
ぽかぽか友達	わくわく勉強	どんどん運動
心がぽかぽかするような 優しい言葉を、あなたから友 達にかけよう	授業では今まで知らな かったことを知ることができ るよ、わくわくするね	病気に負けない丈夫な体を 作ろう、「早寝・早起き・朝 ごはん」も大切だよ

「命を大切に 命を輝かせて」未来に生きる児童の育成

(2) 経営方針

全職員が、学力向上と温かい居場所づくりを目指すとともに、よりよい働き方について自分事としてとらえ、共通理解と協力体制を基盤とし、職員、児童、保護者、地域が信頼関係で結ばれた信頼される学校づくりを推進する。

- ア 確かな学力の育成を目指し、個に応じた「わかる・できる・身につく」授業づくりをすすめる。
- イ 豊かな心の育成を目指し笑顔で生活できる学校・学級づくりや心の居場所づくりをすすめる。
- ウ 健やかな体の育成を目指し、生涯にわたって運動に親しむために、指導の充実を図る。
- エ 学校運営協議会を核として家庭や地域と連携・協働し開かれた学校づくりをすすめる。
- オ 子どもたちに効果的な教育活動を行うことができるよう、働き方改革をすすめる。

(3) 本年度の重点努力目標

ア「確かな学力」の育成

- ・ 基本的な学習のルールや「学習マナー6か条」を意識させ、学ぶ姿勢を育てる。
- ・ 目的を明確にしたペア・グループ学習など対話的な学びにより、主体的に学ぶ姿勢と、深い学びに向かう思考力・表現力を育成する。
- ・ 語彙力、計算力などの基礎学力の定着を図るとともに認知能力の向上に努める。
- ・ プログラミング教育を充実させ、プログラミング的思考力の育成を図る。
- ・ ICT機器の活用や新聞活用の活動を充実させ、情報社会に適應する基礎的資質を育てる。
- ・ 通級指導や特別支援教育の充実を図り、個に応じたきめ細かな学習指導に努める。

イ「豊かな心」の育成

- ・ 子どもたちとの関わりを大切に、一人一人を認め、温かい学級・学年づくりを図る。
- ・ あいさつや言葉遣いなど、社会的なマナーや礼儀正しい姿勢を身につけさせる。
- ・ 道徳教育や読書・読み聞かせなどの読書活動の充実を図り、心豊かな人間性を育てる。
- ・ 「聴く」「認める」に基づく児童との関わりや心のアンケート、相談活動の充実により、児童との信頼関係を構築し、不登校・いじめの未然防止に努める。
- ・ SDGsと関連付けた活動をすすめる。

ウ「健やかな体」の育成

- ・ 体育の授業や放課を利用し、運動や外遊びに親しませ、運動の習慣化を図る。
- ・ 歯磨き指導や食に関する指導を工夫し、健康な体づくりに心がけさせる。
- ・ 生活安全、交通安全、災害安全などKYTによる具体的な行動場面を考えさせ、命を大切に、自ら安全に行動できる態度や習慣を育てる。
- ・ 感染症対策や「早寝・早起き・朝ごはん」など、家庭と協力しよい習慣を身につけさせる。

エ「信頼される学校づくり」をめざして

- ・ 学校運営協議会を通して、保護者・地域からの意見を教育活動に生かし、学校・家庭・地域が連携・協働して魅力ある学校づくりに努める。
- ・ 学校ウェブサイト等で積極的に情報を発信し、開かれた学校づくりに努める。
- ・ 地域での学習を通して、日本の文化と伝統に対する理解を深める。
- ・ 校内現職教育を計画的に行い、教職員の資質・能力の向上と専門性の向上を図る。

オ「学校における働き方改革」について

- ・ 多忙化解消に関わる業務改善に努め、業務の役割分担と適正化を図る。
- ・ 風通しのよい、働きやすい職場環境を作る。